



Copyright © 2015 NTT DATA INTRAMART CORPORATION

目次

- 1. 改訂情報
- 2. はじめに
 - 2.1. 本書の目的
 - 2.2. 対象読者
 - 2.3. 本書の構成
- 3. コンテンツの作成・更新・削除仕様
 - 3.1. コンテンツ作成・更新・削除対象
 - 3.2. コンテンツの情報
 - 3.3. ファセット
 - 3.4. 閲覧可能権限
- 4. Accel Documents クローラ仕様
 - 4.1. 最終クロール日時
 - 4.2. 差分クロールリング
 - 4.3. 再作成クロールリング
 - 4.4. 削除クロールリング
- 5. 検索結果画面仕様
 - 5.1. 表示項目

改訂情報

変更年月日	変更内容
2015-03-13	初版
2016-08-01	第2版 下記を変更しました。 <ul style="list-style-type: none"><li data-bbox="863 409 1410 528">■ 「コンテンツの作成・更新・削除仕様」の閲覧可能権限に関する記述を変更しました。<li data-bbox="863 562 1410 723">■ 「Accel Documents クローラ仕様」の最終クロール日時、差分クロールリング、再作成クロールリング、削除クロールリングに関する記述を変更しました。

目次

- [本書の目的](#)
- [対象読者](#)
- [本書の構成](#)

本書の目的

本書では intra-mart Accel DocumentsのクローラおよびIM-ContentsSearch検索結果画面の機能概要と仕組の詳細について説明します。

対象読者

本書では、次の利用者を対象としています。

- intra-mart Accel Platformを理解している
- intra-mart Accel Documentsを理解している
- IM-ContentsSearch for Accel Platformを理解している

本書の構成

- [コンテンツの作成・更新・削除仕様](#)

コンテンツ作成/更新/削除の仕様について説明します。

- [Accel Documents クローラ仕様](#)

intra-mart Accel Documentsクローラについて説明します。

- [検索結果画面仕様](#)

検索結果画面について説明します。

コンテンツの作成・更新・削除仕様

目次

- コンテンツ作成・更新・削除対象
- コンテンツの情報
- ファセット
- 閲覧可能権限

コンテンツ作成・更新・削除対象

intra-mart Accel Documents クローラは、文書ごとにコンテンツを作成します。

以下の操作がコンテンツの作成および更新対象になります。

- アップロード、コピーなどによる文書の作成
- 属性更新、チェックインなどによる文書の更新
- 文書の保管期限日や保管責任者の更新
- 文書のアクセス権の更新
- ドロワをまたがる文書の移動
- 文書のごみ箱からの復元

また、以下の操作がコンテンツの削除対象になります。

- 削除(ごみ箱への削除も含む)
- 文書の保管期限日を過ぎた場合 (キャビネットの設定で保管期限切れの文書を表示しない設定になっている場合のみ)

コラム

タグの付与および解除は対象となりません。

注意

キャビネットの「保管期限切れ文書の表示設定」で設定を切り替えた場合、次回のクローラで保管期限切れ文書のコンテンツ作成もしくは削除が実施されます。そのため、切り替えた直後の差分クローリングの実行に時間がかかる場合があります。

! 注意

キャビネットを削除した場合、キャビネット以下の文書に対するコンテンツは削除対象になりません。

また、差分クロールリングの最終クロール日時以降に発生した操作履歴を削除した場合、削除された文書に対するコンテンツは削除されません。

これらの場合は、再作成クロールリングの実行が必要となります。

コンテンツの情報

intra-mart Accel Documents クローラでは、文書の情報を以下の内容で作成します。

標準フィールド

No	フィールド名	設定値	備考
1	ID	iad_%キャビネットの識別子%_%文書の識別子%	コンテンツを一意に識別するIDです。
2	TYPE	acceldocuments acceldocuments\$%キャビネットの識別子% acceldocuments\$%キャビネットの識別子%%\$%ドロワの識別子%	コンテンツのタイプです。
3	URL	acceldocuments/rep/storage/list/%キャビネットの識別子%#st-%文書の識別子%	intra-mart Accel Documents 上の文書の格納先
4	TITLE	文書の名前属性の値	
5	TEXT	文書の説明属性の値	
6	ATTACHMENT	文書のコンテンツ	
7	RECORD_DATE	文書の最終更新日時	

動的フィールド

No	フィールド名	設定値	備考
1	creatorName_string	作成者の名前属性の値	検索結果に表示するために用意されたフィールドです。
2	modifierName_string	更新者の名前属性の値	検索結果に表示するために用意されたフィールドです。

No	フィールド名	設定値	備考
3	createdDate_date	作成日時属性の値	検索結果に表示するために用意されたフィールドです。
4	modifiedDate_date	更新日時属性の値	検索結果に表示するために用意されたフィールドです。
5	originalContentSize_long	コンテンツサイズ属性の値	検索結果に表示するために用意されたフィールドです。
6	iad_morph_mlt	全属性	intra-mart Accel Documents内の全属性を一括して検索対象にするために用意されたフィールドです。デフォルトでは検索対象になりません。
7	iad_%テナントID%_%キャビネットの識別子%_%属性の識別子%_morph	単値型属性の値	intra-mart Accel Documents内の特定の単値属性を検索対象にするために用意されたフィールドです。デフォルトでは検索対象になりません。
8	iad_%テナントID%_%キャビネットの識別子%_%属性の識別子%_morph_mlt	多値型属性の値	intra-mart Accel Documents内の特定の多値属性を検索対象にするために用意されたフィールドです。デフォルトでは検索対象になりません。

i コラム

デフォルトでは、標準フィールドの文書の名前属性の値（TITLE）、文書の説明属性の値（TEXT）、文書のコンテンツ（ATTACHMENT）に登録した内容が検索時に検索対象となるフィールドです。

動的フィールドの6～8の属性を検索対象にする場合は、「[intra-mart Accel Platform / 設定ファイルリファレンス 検索フィールド設定](#)」を参照して、各フィールドを検索対象に追加してください。

ファセット

intra-mart Accel Documents クローラでは、コンテンツ作成時に以下のファセット分類を動的に生成し、適用しています。

- Accel Documents

- キャビネット
“Accel Documents”ファセットの下位ファセットとして、コンテンツ作成時に文書が格納されているキャビネットから“キャビネット名”のファセットを動的に生成し適用します。
- ドロワ
“キャビネット名”ファセットの下位ファセットとして、コンテンツ作成時に文書が格納されているドロワから“ドロワ名”のファセットを動的に生成し適用します。

コラム

全文検索画面の検索結果に intra-mart Accel Documentsのコンテンツがある場合、以下の様なファセットナビゲーションが全文検索画面の左部に表示されます。リンクを選択することで検索結果の絞り込み検索を行うことができます。



閲覧可能権限

intra-mart Accel Documentsクローラでは、以下のユーザにコンテンツの閲覧を許可する権限を設定します。

- 文書のアクセス権設定で「読み取り」権以上の権限を持つユーザ
- 文書の保管責任者として設定されているユーザ

注意

文書のアクセス権が変更された場合は、次回のクローラ実行時にコンテンツ更新の対象になりますが、

intra-mart Accel Platform上で、組織やグループの階層構造が変更された場合は、コンテンツ作成および更新の対象になりません。

この場合は、再作成クローリングの実行が必要となります。

なお、組織やグループ内のメンバ移動については、再作成の必要はありません。

また、設定変更により、以下の特別な権限評価を全文検索にも反映することが出来ます。

- キャビネット管理者
操作ユーザがキャビネット管理者に含まれるキャビネットの場合は、そのキャビネット以下のすべてのコンテンツの閲覧を許可します。

- キャビネット利用者
操作ユーザがキャビネット利用者に含まれない(キャビネット管理者でもない)キャビネットの場合は、そのキャビネット以下のすべてのコンテンツの閲覧を禁止します。
- フォルダ/文書作成者の管理権付与設定
ドロワの設定で「フォルダ/文書作成者の管理権付与」設定が「付与する」になっている場合は、そのドロワ以下の文書において操作ユーザが作成者であれば、コンテンツの閲覧を許可します。

上記設定を有効にするには、設定ファイル「`acceldocuments.properties.xml`」の設定値を変更します。

juggling上で設定ファイルを変更する手順は以下の通りです。

1. 「ProjectNavigator」内の `< (プロジェクト名) /conf/acceldocuments-application-config/acceldocuments.properties.xml >` ファイルをダブルクリックします。
2. 「ソース」タブをクリックし、次のように値を変更します。

```
<entry
key="kiun.repository.web.contents.search.cabinet.user.check">true</entry>
```

コラム

「`kiun.repository.web.contents.search.cabinet.user.check`」の設定を「`true`」にすることにより、キャビネット管理者、キャビネット利用者、フォルダ/文書作成者の管理権付与設定の権限評価がすべて有効になります。

注意

ドロワの属性編集において、フォルダ/文書作成者の管理権付与設定を変更した場合は、再作成クローリングの実行が必要となります。

Accel Documents クローラ仕様

目次

- [最終クロール日時](#)
- [差分クローリング](#)
- [再作成クローリング](#)
- [削除クローリング](#)

最終クロール日時

intra-mart Accel Documents クローラでは、処理が正常終了した場合にクローラの最終実行日時をファイルに保存します。

差分クローリング実行時にはこのファイルを参照し、前回の実行日時より後にコンテンツの作成・更新対象となった文書を抽出します。

日時のフォーマットは“yyyy-MM-dd HH:mm:ss”です。

最終クロール日時を保存するファイルは、キャビネットごとに、クローリング処理の初回正常終了時に PublicStorage の以下のディレクトリに保存されます。

```
%PUBLIC_STORAGE_PATH%/products/im_contents_search/store/%テナントID%/last_crawling_date/acceldocuments_%キャビネットID%.json
```

ただし、削除クローリングが実行された場合、最終クロール日時は“2000-01-01 00:00:00”に初期化されます。

初期状態の場合、最終クロール日時を保存するファイルは存在していません。

この場合、既定値として“2000年1月1日0時0分0秒”を最終クロール日時として動作する仕様になっています。

初回実行時の対象日時を明示的に指定したい場合は、上記ファイルを作成して対象日時を上記の日時フォーマットにて設定してください。

差分クローリング

intra-mart Accel Documents クローラの差分クローリングでは、最終クロール日時以降にコンテンツの作成・更新・削除対象となった文書を抽出します。



コラム

コンテンツの作成・更新・削除対象については、[コンテンツの作成・更新・削除仕様](#)を参照してください。



コラム

ジョブネット「IM-ContentsSearch クローラ / 差分クローリング」にジョブ「Accel Documents クローラ」を追加することで実行可能です。

i コラム

ジョブのパラメータとして「cabinetId」を追加し、値としてキャビネットのID(例:1000000)を指定することで、差分クローリングの対象とするキャビネットを一つに限定することが可能です。
指定しない場合や空文字を指定した場合は、全キャビネットが対象となります。

再作成クローリング

intra-mart Accel Documents クローラの再作成クローリングでは、Accel Documents クローラが作成したコンテンツをすべて削除した後、全文書の索引化を実行します。

i コラム

ジョブネット「IM-ContentsSearch クローラ / 再作成クローリング」にジョブ「Accel Documents クローラ」を追加することで実行可能です。

i コラム

ジョブのパラメータとして「cabinetId」を追加し、値としてキャビネットのID(例:1000000)を指定することで、再作成クローリングの対象とするキャビネットを一つに限定することが可能です。
指定しない場合や空文字を指定した場合は、全キャビネットが対象となります。

削除クローリング

intra-mart Accel Documents クローラの削除クローリングでは、Accel Documents クローラが作成したコンテンツをすべて削除します。

i コラム

ジョブネット「IM-ContentsSearch クローラ / 削除クローリング」にジョブ「Accel Documents クローラ」を追加することで実行可能です。

i コラム

ジョブのパラメータとして「cabinetId」を追加し、値としてキャビネットのID(例:1000000)を指定することで、削除クローリングの対象とするキャビネットを一つに限定することが可能です。
指定しない場合や空文字を指定した場合は、全キャビネットが対象となります。

検索結果画面仕様

目次

- 表示項目

表示項目

intra-mart Accel Documents クローラでは、全文検索画面に表示される項目は以下です。

- TITLE
文書の名前属性が表示されます。
クリックすることで、intra-mart Accel Documents上の文書の格納先を開くことができます。
- RECORD_DATE
文書の更新日時がログインユーザの表示設定に従って表示されます。
- パンくずリスト
“Accel Documents”、キャビネット名、ドロワ名が表示されます。
- 作成者
文書の作成者名がログインユーザのロケールで表示されます。
- 作成日
文書の作成日がログインユーザの表示設定に従って表示されます。
- 更新者
文書の更新者名がログインユーザのロケールで表示されます。
- 更新日
文書の更新日がログインユーザの表示設定に従って表示されます。
- サイズ
文書のコンテンツサイズがバイトで表示されます。
- 要約
要約表示の指定をして検索した場合に表示されます。
要約は検索条件の文字列がカラーでハイライトされて表示されます。

検索結果画面例

[サンプル文書3.txt](#)
 2014-12-02 21:25:08 Accel Documents > キャビネットB > ドロワ B-1
 作成者：原田浩二 作成日：2014-12-02
 更新者：原田浩二 更新日：2014-12-02
 サイズ：1 バイト
 サンプル 文書3.txt a



注意

「[intra-mart Accel Platform / 設定ファイルリファレンス 検索フィールド設定](#)」により独自に指定した intra-mart Accel Documentsの属性については、要訳にハイライト表示されません。